（別紙）

スポーツ用具及びニュースポーツの種類・用具一覧

2022.5.16 作成

①ローイングエルゴメーター

ローイング動作（ボードを漕ぐ動作）のトレーニングマシンです。ローイング動作は全身の筋肉をくまなく使えるため、効率的な有酸素運動をすることができる。

サイズ：約 240 ㎝×60 ㎝

②カローリング　（所要時間約 25 分）　２セット

室内でカーリングができるように考案された「ジェットローラー」を、11m 先のフロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に、相手チームと交互に投球し、ポイントを競い合う。

サイズ：ローラー直径 25.8 ㎝、ポイントゾーン 94 ㎝×94 ㎝

③クロリティー　（所要時間約 20 分）　２セット

アメリカの”ホースシュー”と日本の伝統的な”輪投げ”をミックスして作られた最新輪投げ競技。

サイズ：75 ㎝×75 ㎝×45 ㎝

④ボッチャ・ボッチャシート　（所要時間約 30 分）　３セット

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ 6 球ずつのボールを投げたり、転がしたり、ほかのボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。

サイズ：ボッチャ約 60 ㎝×30 ㎝　シート約 4m×3m

⑤ビーンボウリング（所要時間約 15 分）　１セット

並列にセットされた回転するピンを、プラスチック製の玉で反転させて得点を競う。コントロールやバランスが重要なゲームである。

サイズ：約 100 ㎝×64 ㎝×56 ㎝

⑥ペタンク（所要時間約 30 分）　屋内用７セット・屋外用４セット

フランスが発祥のスポーツで、金属製のボールを目標球に向かって投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲーム。室内用（ゴム製）もある。

サイズ：約 25 ㎝×15 ㎝

⑦キンボール（所要時間約 45 分）　１セット

直径 122cm、約 1kg の大きなボールを、指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブ出来なければ他のチームに 1 点ずつ与えられるゲーム。チームワークと判断力が重要なスポーツ。

⑧インディアカ（所要時間約 25 分）　羽 11 個

インディアカと呼ばれるバドミントンのシャトルコックの大きなものを、6 人制バレーボールのルールに準じて、素手で打ち合うスポーツ。

⑨ラダーゲッター（所要時間約 10 分）　２セット

ヒモでつながったボールを、ラダー（ハシゴ）目がけて投げ、上手く引っかけ得点を競う。どちらかが 21 点丁度を取って勝利するまで行う。

サイズ：約 61 ㎝×68 ㎝×100 ㎝

⑩デッキスティックゲーム（所要時間約 30 分）　２セット

コートには、ミニ・シャフルボード・ゲーム、スティック・陣取り・ゲーム、スティック・カーリング・ゲームの得点エリアが印刷されており、スティック（キュー）とディスクを使って、3 種類のゲームが楽しめる。

サイズ：7.2m×1.2m

⑪ディスゲッター９（所要時間約 10 分）２セット（ドッチビー８個付き）

チームの中で交代して投げ、タテ・ヨコ・ナナメいずれか１列にパネルを参加人数は２名以上とし、先攻後攻に分かれ競技する。

サイズ：約 140 ㎝×124 ㎝

⑫クップ（所要時間約 15 分）１セット

　ベースラインの後方からカストピンナを 1 本ずつ投げ、各チームが５個のクップを持ち相手のクップを倒す。相手陣地のクップを全て倒し、先にキングを倒したチームが勝利となる。全てのクップを倒す前にキングを倒すと負けになる。先攻後攻に分かれ競技する。

⑬フラボール（所要時間 20 分）１セット

　フラボールと呼ばれる変形した柔らかいボールを使い、バレーボールのルールに準じて行うスポーツ。ただし、相手コートから返ってきたボールは、必ずワンバウンドしたあとにレシーブし、３回以内で再び相手コートへ返す。変形ボールが意外な方向へ弾むため、軌道が読めないことがこのスポーツの面白さである。